

点検一覧表(笠置町)

令和2年度 道路施設定期点検(橋梁)業務委託(木津川市、笠置町)(別紙5)

(橋全体: ■II、■III、■(字白抜き)IV)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
橋梁名	中学校前橋	切山橋	木ノ下橋	佐田橋	佐田北橋	飛鳥路橋2	蔵谷橋	湯谷橋	大切谷橋	砂浦橋										
フリガナ	チュウガッコウマエハシ	キリヤマハシ	キノノタハシ	サタハシ	サタキタハシ	アスカジハシ	クラニハシ	ユタニハシ	オオキリタニハシ	スナウラハシ										
国の作業ID(16桁)	34.76075.135.94145	34.76601.135.93231	34.76235.135.96171	34.75474.135.92821	34.75706.135.92942	34.76434.135.96682	34.76738.135.95646	34.76079.135.94354	34.75033.135.92806	34.75954.135.95023										
路線名	町道笠置～上津線	町道笠置～切山線	町道飛鳥路線	町道佐田線	町道白砂川右岸線	町道南大河原線	町道笠置～有市線	町道笠置～有市線	町道笠置～広岡線	町道笠置～川東線										
架設年次(西暦)	1979	1961	1960	1993	1984	1960	1963	1987	1960	1988										
橋長(m)	2.1	2.2	2.3	2.5	2.6	2.8	4.0	4.0	5.2	5.9										
幅員(m)	1.2	4.6	2.6	7.9	3.0	2.0	2.7	4.7	5.2	1.9										
径間数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
構造形式及び特徴	RC単純床版橋	RC単純床版橋	RC単純床版橋	RC単純床版橋	RCボックスカルバート	RC単純床版橋	RC単純床版橋	RC単純床版橋 鋼単純H桁橋	RC単純床版橋 (縦桁補強)	RC単純床版橋										
全景写真																				
	判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回		判定区分 H27 今回			
橋全体	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II		
上部構造	主桁(頂版)	I	I	II	II	II	II	II	II	I	I	II	II	III	I	I	II	II	I	I
	横桁(側壁)																			
	床版(底版)																			
下部構造(翼壁)	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
支承部(継手)																				
その他	II	III	II	II	I	II	II	II	II	I	I	I	II	II	II	II	II	II	II	II
所見等 (橋全体の健全性の判定理由)	▶橋台に最大幅10mmのひびわれや、ひびわれからの遊離石灰跡(錆汁なし)、欠損(350mm×200mm×100mm)が見られる。 ▶路面に最大70mmの段差が見られる。段差量が大いため、補修することが望ましい。 ▶前回点検から進行は見られないことから経過観察として判定IIとする。		▶主桁に鉄筋露出(600mm×300mm)、豆板、うき(300mm×100mm)が見られる。 ▶橋台に剥離(500mm×1200mm×20mm)、うき(100mm×100mm)、欠損(250mm×150mm×120mm)が見られる。 ▶路面に最大幅5.0mmのひびわれが見られる。 ▶地覆に欠損(150mm×400mm×150mm)がある。		▶主桁に鉄筋露出(250mm×400mm)、うき(300mm×300mm)、剥離(1100mm×300mm×100mm)が見られる。 ▶石積みに直接床版が架設されており、その石積みの隙間から一部河川水が流れている。 ▶Co舗装の端部に剥離(1600mm×150mm)が生じている。		▶主桁に400mm×1300mmの鉄筋露出、最大幅0.4mmのひびわれ、うき(200mm×100mm)が見られる。鉄筋露出(桁端部)はかぶり不足と考えられる。 ▶橋台に最大幅10mmのひびわれ、うき(100mm×100mm)、剥離(1300mm×200mm)が見られる。 ▶路面に最大50mmの段差がある。段差量が大いため、補修することが望ましい。 ▶路面に最大幅30mmのひびわれが生じている。 ▶近隣住民の方が設置したと考えられる防護柵が破断している。		▶頂版に剥離(100mm×100mm)が見られる。 ▶側壁に50mm×1600mmの剥離、最大幅0.25mmのひびわれが見られる。 ▶橋全体の機能に支障はなく、概ね健全である。 ▶前回点検から進行は見られないため、前回同様、判定Iとする。		▶橋台に600mm×200mmの鉄筋露出が見られる。 ▶地覆に100mm×70mm×30mmの欠損が見られる。 ▶上流側の河川が、土で埋まっている。(土砂溜まり)前回点検時は、埋まっていなかった。 ▶河川に水はなく、上下流ともに河川形状は確認できなかった。		▶前回点検時の損傷は補修されている。(H29) ▶防護柵に軽微な変形が見られるが、道路橋の機能に支障がないことから、橋全体の判定としてはIとする。		▶前回点検時の損傷は補修されている。(H27) ▶鋼部材(主桁、床版)の塗膜剥がれのところが腐食している。(補修箇所) ▶橋台に欠損(50mm×100mm×200mm)が見られる。 ▶路面に最大幅2.0mmのひびわれが見られる。		▶前回点検時の損傷は補修されている。(H29) ▶主桁と拡幅部との目地から遊離石灰跡(錆汁なし)が見られる。 ▶橋台部の張コンクリート(うき(850mm×4200mm))がある。 ▶縦桁の塗膜剥がれのところが腐食している。(補修箇所)		▶前回点検時から目立った損傷は見られず、概ね健全である。 ▶橋面に土砂溜まりあり。(清掃済)	
	主要な変状の原因													ケレン不足による塗膜剥がれ		ケレン不足による塗膜剥がれ				
原因除去、補修方法(案)													再塗装(ケレン重要)		再塗装(ケレン重要)					
主要な変状の劣化速度	進行なし		進行なし		進行なし		進行なし		進行なし		進行なし		進行早い		進行早い		進行なし			
管理瑕疵の危険	路面の凹凸		舗装の異常、地覆の欠損		舗装の剥離		路面の凹凸		進行なし		地覆の欠損、河川の土砂溜まり		舗装の異常		舗装の異常		舗装の異常			
損傷写真 (橋全体の健全性の判定を補足する写真) 最大3枚+小窓																				
	橋台	主桁	主桁	主桁	主桁	側壁	橋台	主桁	主桁	主桁	主桁	縦桁	主桁							
	路面	橋台	石積(橋台部)	橋台	側壁	地覆	防護柵	路面	橋台	橋台	橋台									

点検一覧表(笠置町)

令和2年度 道路施設定期点検(橋梁)業務委託(木津川市、笠置町)(別紙5)

(橋全体: ■Ⅱ、■Ⅲ、■(字白抜き)Ⅳ)

No.	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
橋梁名	広岡東橋	不動谷橋1	不動谷橋3	不動谷橋2	船頭橋	飛鳥路橋1	芝川橋	塚本橋	鹿鷲橋	鯛取橋	
フリガナ	ヒロカヒガシバシ	フドウニハシチ	フドウニハシサン	フドウニハシニ	セントウバシ	アスカジバシチ	シバカワバシ	ツカモトバシ	カサギバシ	タイノバシ	
国の作業ID(16桁)	34.75468,135.92740	34.76720,135.96510	34.76894,135.96563	34.76839,135.96554	34.76562,135.96684	34.76457,135.96510	34.75560,135.93482	34.75338,135.93573	34.74427,135.95013	34.75649,135.93512	
路線名	町道佐田線	町道笠置～有市線	町道童仙房線	町道童仙房線	町道ゴンジ線	町道南大河原線	町道笠置～奥田線	町道奥田～塚本線	町道笠置山線	町道笠置～広岡線	
架設年次(西暦)	1960	1969	1970	1970	1959	1980	1988	1989	1998	1989	
橋長(m)	5.9	7.0	7.3	7.4	7.6	8.6	11.4	13.4	16.2	16.5	
幅員(m)	4.5	3.0	3.4	3.1	2.7	1.9	2.4	4.6	11.3	4.5	
径間数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
構造形式及び特徴	RC単純床版橋	PC単純プレテン中空床版橋(拡幅部:鋼単純H桁橋)	鋼単純H桁橋	鋼単純H桁橋	鋼単純H桁橋	鋼デッキプレート単純H桁橋	RC単純床版橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋(耐候性鋼材)	鋼単純I桁橋	
全景写真											
点検結果	判定区分 H27 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H26 今回	判定区分 H27 今回	判定区分 H27 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H27 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	
橋全体	Ⅰ Ⅰ	Ⅲ Ⅲ	Ⅰ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ	Ⅱ Ⅲ	Ⅲ Ⅲ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅲ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	
上部構造	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	主桁(頂版) Ⅰ Ⅰ 横桁(側壁) Ⅰ Ⅰ 床版(底版) Ⅱ Ⅱ	
下部構造(翼壁)	Ⅰ Ⅰ	Ⅲ Ⅲ	Ⅰ Ⅲ	Ⅰ Ⅱ	Ⅱ Ⅲ	Ⅰ Ⅰ	Ⅱ Ⅱ	Ⅰ Ⅰ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	
支承部(継手)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	
その他	Ⅱ Ⅱ 舗装の異常	Ⅱ Ⅱ 路面の凹凸	Ⅰ Ⅱ 腐食	Ⅱ Ⅱ 路面の凹凸	Ⅰ Ⅲ 路面の凹凸	Ⅱ Ⅱ 腐食	Ⅱ Ⅲ 路面の凹凸	Ⅱ Ⅱ 舗装の異常	Ⅱ Ⅲ 路面の凹凸	Ⅱ Ⅲ 路面の凹凸	
所見等(橋全体の健全性の判定理由)	主桁に100mm×30mmの鉄筋露出が見られる。 橋台に最大幅0.3mmのひびわれ、河床には不法投棄がある。 舗装に最大幅20mmのひびわれが見られる。 防護柵に腐食、変形が見られる。 主構造(主桁、下部構造)に前回点検時からの進行が見られないことから、前回同様の判定Ⅰとする。	補修工事予定あり(R2) <今回は補修前点検> 間詰床版からの漏水と遊離石灰(錆汁あり)が6か所見られる。 床版(拡幅部)に200mm×50mmの鉄筋露出が見られる。 橋台に深さ600mmの洗堀や、剥離、うき、漏水、欠損が見られる。 路面に最大15mmの段差が見られる。 エラストイトがはみ出てきている。 防護柵や縦桁に腐食や、地覆に欠損が見られる。	前回点検時の損傷は補修されている。(H28) 主桁(特に端部)や支承の塗膜剥がれのところが腐食している。(補修箇所) 床版にうき(500mm×300mm)、剥離(100mm×100mm)が見られる。 橋台に奥行600mmの洗堀があり、前回点検時と比較すると広がっているように見られる。その他、欠損(300mm×250mm×200mm)、漏水あり。 防護柵に腐食変形あり。	前回点検時の損傷は補修されている。(H27) 主桁(特に端部)や支承(全箇所)の塗膜剥がれのところが腐食している。(補修箇所) 床版の塗膜が剥がれている。(補修箇所) 橋台にうき(100mm×100mm)、欠損(150mm×250mm×100mm)が見られる。 路面に最大30mmの段差が見られる。(道路端部の舗装が盛り上がりしている)	遊間からの漏水による桁端部の腐食が見られる他、橋面は鉄板であり、鉄板の継目部から水が浸入し、滞水しやすい桁間の上面を中心として主桁・横桁・支承の全体に腐食が見られる。 護岸上に橋台があり、その護岸の基礎と護岸自体が割れてしまい150mm程度沈下している。それに伴う護岸の最大35.0mmのひびわれが見られる。床版が下がっている様子は確認できず。 橋台に剥離(200mm×150mm×40mm)、うき(200mm×350mm)が見られる。 路面に最大30mmの段差が見られる。	補修工事予定あり(R3) <今回は補修前点検> 鋼部材(主桁、横桁、床版、高欄)の全体的に塗膜剥がれの所が腐食している。腐食箇所の面積は、前回点検時と比較して拡大している。ただし、全体の50%には達していない。局部的に断面欠損している。 支承にアンカーボルトのゆるみが見られる。	主桁に最大幅0.3mmの橋軸直角方向ひびわれ、剥離(550mm×100mm×10mm)が見られる。ひびわれは、桁中央付近に集中している。 橋台に遊離石灰(錆汁なし)が生じている。 路面に最大50mmの段差が見られる。 高欄に腐食による破断や変形が見られる。 路面に最大20mmのひびわれが見られる。 排水管は全体的に腐食して一部孔食している。 路面凹凸と伸縮目地の前回点検時の損傷は補修されていた。	主桁端部(特に支点上垂直補剛材)に板厚減少を伴う著しい腐食が目立っている。 横桁に腐食が見られる。 床版の鋼板部に腐食、その端部は断面欠損しており、遊離石灰(錆汁あり)も見られる。 支承にアンカーボルトのゆるみが見られる。 路面に最大20mmのひびわれが見られる。 桁下に不法投棄あり。(雑木20本以上やゴミ) エラストイト(伸縮装置)が脱落。 端部に危険な開口部あり	主桁、横桁、縦桁に腐食が見られ、特に端部、横桁の端部の腐食が目立っている。 床版に遊離石灰を伴うひびわれ、うき(600mm×100mm)、剥離(100mm×400mm×10mm)が見られる。 伸縮装置に目地材の劣化及びそれに伴う漏水が見られる。 支承に腐食が見られる。 橋台に最大0.3mmのひびわれ、遊離石灰(錆汁あり)、漏水滞水が見られる。 路面に50mmの段差が見られる。 地覆に遊離石灰が見られる。 桁下に占有物あり。(ホップ、木材など)	主桁、横桁、支承、排水管に表面錆が生じている。 床版に最大幅0.2mmのひびわれ、150mm×100mmの鉄筋露出、遊離石灰(錆汁なし)が見られる。 橋台に最大幅0.2mmのひびわれが見られる。 路面に最大35.0mmの段差、最大幅2.0mmのひびわれが見られる。 防護柵に腐食・変形が見られる。 地覆に鉄筋露出(150mm×160mm×10mm)が見られる。	主桁、横桁、支承、排水管に表面錆が生じている。 床版に最大幅0.2mmのひびわれ、150mm×100mmの鉄筋露出、遊離石灰(錆汁なし)が見られる。 橋台に最大幅0.2mmのひびわれが見られる。 路面に最大35.0mmの段差、最大幅2.0mmのひびわれが見られる。 防護柵に腐食・変形が見られる。 地覆に鉄筋露出(150mm×160mm×10mm)が見られる。
主要な変状の原因			ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	護岸の沈下	防食機能の劣化、腐食		板厚減少を伴う腐食			
原因除去、補修方法(案)			再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	護岸補修	塗装塗替工		当て板補修、漏水対策、塗装塗替			
主要な変状の劣化速度	進行なし	進行なし	進行早い	進行早い	進行遅い	進行遅い	進行なし	進行遅い	進行なし	進行なし	
管理瑕疵の危険	舗装の異常、不法投棄、防護柵の腐食・変形	路面の凹凸	防護柵の腐食・変形	路面の凹凸	路面の凹凸	高欄の腐食	路面の凹凸、高欄の破断	端部に危険な開口部あり、舗装の異常、不法投棄	路面の凹凸、地覆の遊離石灰	路面の凹凸、防護柵の腐食・変形	
損傷写真(橋全体の健全性の判定を補足する写真) 最大3枚+小窓	 主桁	 床版	 主桁	 主桁	 主桁	 主桁	 主桁	 支承	 横桁	 床版	
	 橋台	 橋台	 橋台	 路面	 橋台	 支承	 路面	 床版	 橋台	 橋台	

点検一覧表(笠置町)

令和2年度 道路施設定期点検(橋梁)業務委託(木津川市、笠置町)(別紙5)

(橋全体: ■Ⅱ、■Ⅲ、■(字白抜き)Ⅳ)

No.	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
橋梁名	淵の上橋	羽根田橋	和田ノ前橋	新橋	栗足橋	布目橋	西奥橋	白鷺橋	自然歩道橋	潜没橋
フリガナ	フチノウエハシ	ハネダハシ	ワタノマエハシ	シンハシ	クリアシハシ	ヌノハシ	ニシオカハシ	シラサギハシ	シセンボドウハシ	センボツハシ
国の作業ID(16桁)	34.75771,135.93008	34.76354,135.95141	34.75777,135.93328	34.74404,135.96146	34.76412,135.94997	34.76035,135.95877	34.75045,135.92747	34.75781,135.93363	34.75736,135.94453	34.75736,135.94453
路線名	町道八ヶ坪2号線	町道羽根田1号線	町道和田ノ前線	町道有市~柳生線	町道笠置~有市線	町道笠置~川東線	町道笠置~広岡線	町道隅田線	町道笠置~川東線	町道有市~柳生線
架設年次(西暦)	1985	1979	1972	1968	1991	1987	1987	1995	1968	1962
橋長(m)	18.8	21.4	21.4	23.4	23.5	24.6	25.2	25.8	28.6	100.0
幅員(m)	5.2	4.7	3.7	3.7	6.3	4.0	3.5	8.7	1.8	2.8
径間数	1	1	1	1	1	1	1	1	3	10
構造形式及び特徴	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼単純I桁橋	鋼方杖ラーメン橋	PC3径間単純床版橋+RC4径間連続I桁橋+PC3径間単純床版橋
全景写真										
	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H27 今回	判定区分 H26 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H28 今回	判定区分 H27 今回
橋全体	Ⅲ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅲ Ⅲ	Ⅲ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅰ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅲ Ⅱ
上部構造	主桁(頂版) Ⅱ I 横桁(側壁) Ⅱ I 床版(底版) Ⅲ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ	Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅲ I	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ	Ⅰ I Ⅰ I Ⅰ I	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅰ I	Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ Ⅱ	Ⅲ Ⅱ Ⅰ Ⅱ Ⅱ Ⅱ
下部構造(翼壁)	I I	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	I I	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ
支承部(継手)	Ⅱ I	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	I I	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ
その他	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅱ	Ⅲ Ⅲ	I Ⅲ	Ⅱ Ⅲ	Ⅱ Ⅱ	Ⅱ Ⅲ
所見等 (橋全体の健全性の判定理由)	▶前回点検時の損傷は補修されている。(H29) ▶床版に最大幅0.1mmのひびわれ、遊離石灰(錆汁なし)が見られる。0.2mm以上はひびわれは補修済。 ▶地覆に欠損(200mm×150mm×20mm)が見られる。	▶H28年に補修されている。 ▶主桁端部、支承に塗膜剥がれによる腐食が生じており、一部断面欠損している垂直補剛材はH28年に補修されており前回から進行は見られないため、今後も経過観察とする。 ▶床版に鉄筋露出(600mm×200mm×20mm)、デッキプレートの塗膜剥がれによる腐食、豆板が見られる。 ▶橋台に最大幅0.2mmのひびわれ、洗い出し(300mm×800mm)が見られる。 ▶路面に最大幅5.0mmのひびわれが見られる。 ▶地覆に幅0.8mmのひびわれ、遊離石灰(錆汁なし)、剥離が見られる。防護欄にボルトの脱落が見られる。排水管に腐食が見られる。	▶H28年に補修されている。 ▶主桁、横桁、支承に腐食が見られる。 ▶床版に鉄筋露出(200mm×260mm)が見られる。 ▶橋台に幅0.2mmのひびわれ、鉄筋露出(300mm×300mm)、うき(250mm×550mm)、植生、土砂及びコンクリートからの堆積が見られる。 ▶路面に20mmの段差が見られる。 ▶防護欄に腐食、ボルトの脱落が見られる。 ▶地覆に鉄筋露出(300mm×200mm×100mm)が見られる。 ▶排水管に腐食が見られる。 ▶添架物に腐食が見られる。	▶前回点検時の損傷は補修されている。(H29) ▶主桁、支承の塗膜剥がれのところ腐食している。 ▶主桁に変形が見られる。 ▶床版、地覆の塗装部に遊離石灰(錆汁あり)が見られる。 ▶橋台に土砂詰りが見られる。 ▶伸縮装置の止水ゴムの劣化、脱落が見られる。	▶鋼部材全体(主桁、横桁、支承)に表面錆。 ▶張り出し床版に鉄筋露出(50mm×300mm×10mm)、うき(500mm×500mm)、剥離(300mm×400mm×30mm)、遊離石灰(錆汁なし)、床版端部付近に最大幅0.5mmのひびわれ。 ▶橋台に最大幅0.3mmのひびわれ、うき(600mm×400mm)、漏水、遊離石灰(錆汁なし)。 ▶沓座モルタルのうき、剥れ。防護欄に腐食、変形、脱落、地覆に欠損、鉄筋露出、うき、遊離石灰(錆汁なし)。 ▶排水管は根元が乳食しているため、補修が必要である。	▶主桁、横桁に腐食や塗膜剥がれが見られる。 ▶床版に最大幅0.2mmのひびわれ、つらら状の遊離石灰(錆汁なし)、鉄筋露出(250mm×30mm)が見られる。 ▶支承に腐食、沓座モルタルの欠損(50mm×50mm)が見られる。 ▶路面に33mmの段差が見られる。 ▶伸縮装置に腐食が見られる。 ▶防護欄に変形が見られる。 ▶地覆に最大幅0.1mmのひびわれ、遊離石灰が見られる。 ▶排水管に腐食が見られる。	▶前回点検時の損傷は補修されている。(H27) ▶主桁端部に2か所だけ腐食が生じている。 ▶床版端部1か所に遊離石灰(錆汁なし)が見られる。 ▶沓座モルタル1か所でうき(300mm×200mm)が見られる。	▶主桁に腐食、その他鋼部材(横桁、縦桁、対傾構、下横構、支承)に防食機能の劣化が見られる。 ▶主桁に落書き、鳥の巣が見られる。 ▶橋台に最大幅0.7mmのひびわれ、遊離石灰、うき(350mm×100mm)、植生が見られる。 ▶路面に最大35mmの段差が見られる。 ▶伸縮装置に防食機能の劣化が見られる。 ▶防護欄に防食機能の劣化が見られる。 ▶排水管の取付金具に腐食が見られる。	▶主桁、縦桁、横桁、主構(桁)に腐食が見られる。 ▶主桁にハチの巣が見られる。 ▶床版に腐食が見られる。 ▶支承に腐食、沓座モルタルに幅1.3mmのひびわれが見られる。 ▶橋台、橋脚に最大幅1.8mmのひびわれ、遊離石灰、うき(1100mm×300mm)、欠損(200mm×100mm)、土砂詰りが見られる。 ▶主桁に遊離石灰(錆汁あり)、剥離(300mm×400mm×20mm)。 ▶横桁に遊離石灰(錆汁なし)。 ▶床版に遊離石灰(錆汁なし)。 ▶添架物に腐食が見られる。 ▶主桁に腐食、ボルトのゆるみ、舗装に100mmの段差、ひびわれ。	▶前回点検時の損傷は一部(A2,P3~8)補修されている。(H29,H30,R01) ▶補修工事予定あり(R2) ▶今回は補修前点検 ▶P1橋脚に400mm×360mm×1600mm(深さ)の洗堀や、鉄筋露出(400mm×400mm)。(P2~P3にもP1同等程度の洗堀あり) ▶主桁に遊離石灰(錆汁あり)、剥離(300mm×400mm×20mm)。 ▶横桁に遊離石灰(錆汁なし)。 ▶床版に遊離石灰(錆汁なし)。 ▶添架物に腐食が見られる。 ▶主桁に腐食、ボルトのゆるみ、舗装に100mmの段差、ひびわれ。
主要な変状の原因	乾燥収縮	ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	ケレン不足による塗膜剥がれ	防食機能の劣化、腐食	防食機能の劣化、腐食
原因除去、補修方法(案)	ひびわれ注入工	再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	再塗装(ケレン重要)	塗装塗替工	塗装塗替工
主要な変状の劣化速度	進行遅い	進行遅い	進行なし	進行早い	進行なし	進行なし	進行早い	進行なし	進行遅い	進行なし
管理瑕疵の危険	地覆の欠損	舗装の異常、地覆のひびわれ、遊離石灰、剥離、防護欄のボルトの脱落、排水管の腐食	路面の凹凸、防護欄の腐食、ボルトの脱落、地覆の鉄筋露出、排水管の腐食	路面の凹凸、防護欄の腐食・変形、地覆の欠損、鉄筋露出	路面の凹凸、防護欄の腐食・変形、地覆の欠損、鉄筋露出	路面の凹凸、防護欄の変形、地覆のひびわれ、遊離石灰	路面の凹凸、防護欄の防食機能劣化、排水管取付金具の腐食	高欄の腐食、添架物の腐食	路面の凹凸、舗装の異常、地覆の欠損、鉄筋露出	路面の凹凸、舗装の異常、地覆の欠損、鉄筋露出
損傷写真 (橋全体の健全性の判定を補足する写真) 最大3枚+小窓										
	床版	主桁	床版	支承	張り出し床版	主桁	主桁	橋台	支承	床版
	地覆	床版	主桁	伸縮装置	支承	床版	床版	路面	ハチの巣	橋脚